

言ってみて

蜜瀬かえで 著

姫路玉置。

私立梅之恵学園、美術科の1年生。

絵を描く才能は美術科の中でもずば抜けていて、学年でもトップクラス。

勉強もできて成績優秀だし、スポーツだって大得意。

おまけにすごい美人さん。

小顔で整った顔立ちに、ぱっちりとした瞳。腰まで届く長い髪。すらっとしたスタイルはまるでモデルのよう。

おしゃれで、かわいい服とかアクセサリーが大好きで。

そのせいで、両親から仕送りがあるとすぐに服とかに使っちゃって、お金がなくてお昼はコッペパン一個の日が多かったり。

頭は良いんだけど、すぐ考えなしに行動するのが悪いところ。

よく考えずに口に出しては、後悔しての繰り返し。

人のことちゃんと見てるかと思えば、変なところで鈍感だし。

ほんとわたしも何回呆れたり、怒らされたりしたことか。

あ、でもね、根は素直ですごく良い子なんだよ？

思ったことはすぐに口に出して伝えてくれるし。

自分が悪いと思ったらちゃんと謝ってくれる。

いつでも明るい笑顔で「未佑」って、わたしの名前を呼んでくれる。

そんな顔見てたら、なんか怒ってるのもばからしくなってしまうくらい。

姫路玉置。

わたしの、親友。

~~~~~。

~~~~~。

~~~~~。

……どうしてかな？

ただ、「親友」って言葉、口に出すだけなのに。

それだけで、こんなにも照れくさくてしょうがないや。

……今回はただ、それだけのお話。